



林 俊衛 作品名・制作年不明 油彩、カンヴァス 36.5×44.0cm うらわ美術館蔵

うらわ美術館 URAWA ART MUSEUM

文教のまち浦和で、さいたま市の文化創造の拠点として活動しているうらわ美術館。現在、空調設備改修工事のため休館中ですが、特色ある美術館を支えるための活動は継続しています。そんなうらわ美術館の「うら」側を紹介します(P2)。

うらわ美術館 教育普及用
キャラクター「うらびい」

大正期にアナーキスト大杉栄を描いた肖像画で世間の注目を集めた林俊衛（1895～1945年）が1941年に別所沼西岸の稲荷台に転居したことは、浦和の絵描きたちの中でちょっとした話題になったようです。林は利他的で破天荒な生き方や反骨の画家という側面で語られがちですが、印象主義的な明るい光に満ちた風景画を数多く残したことも見逃せません。別所沼を描いたと思われるこの作品も、おおらかな筆遣いや透明な輝きに満ちた鮮やかな緑色が画面を覆い、セザンヌを敬愛した林の純朴な表現が発揮されています。（うらわ美術館 松原）



浦和区役所 〒330-9586 浦和区常盤6丁目4番4号
☎825・1111 (代表) ※さいたまコールセンターにつながります。

編集：浦和区コミュニティ課
●人口 / 169,581人 (男 / 82,133人 女 / 87,448人)
●世帯数 / 79,921世帯 ●面積 / 11.51km² (令和6年4月1日現在)



X (旧Twitter) ▲



浦和区PR協力店 ▲



浦和区文化の小径マップ ▲